



キッチン・バス工業会 平成29年 賀詞交歓会を開催!

キッチン・バス工業会は、平成29年1月13日(金)に賀詞交歓会を盛大に開催いたしました。当日は関係各省庁のご来賓をお迎えし、会員企業83社の代表総勢341名が一堂に会して、本年の業界の成長を祈念するとともに、会員間の交流を図りました。

賀詞交歓会は、大道会長(永大産業)の新年のご挨拶より始まり、来賓祝辞として経済産業省 杉浦室長、国土交通省 真鍋課長、内閣府 神宝政策企画調査官よりお言葉を頂戴いたしました。山口副会長(ハウステック)の乾杯発声により、しばし歓談が行われ、新入会員である亀井製作所 亀井社長のご紹介、富士高分子 田代社長の新年景気付けの後、高橋理事(ベルキッチン)の中締めにより、盛況の内に終了しました。

目次	
賀詞交歓会を開催!1
大道会長挨拶2
来賓のご祝辞3
登壇いただいた方々4
事務局からひとこと4
編集後記4



大道会長挨拶



賀詞交歓会 歓談の様子



富士高分子 田代社長による新年景気こいこい

会長挨拶 「いち早く新しい常識に取り組むことが価値につながる」

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。関係省庁、関係団体のご来賓の方々におかれましては、ご公務ご多忙の中、ご参加ご参集頂き誠にありがとうございます。

さて、昨年を振り返りますと、今までの常識が通じなくなった年でありました。中でも、英国では欧州連合(EU)からの離脱が決定し、そして米国ではトランプ氏が大統領選挙において勝利を収めました。新年早々もトランプ次期大統領自身のツイッターでの発言により世の中が動くなど、想像し難い常識外れの出来事が報道されています。

今週の新聞紙上に、米国・ラスベガスで開催された世界最大の国際家電見本市(CES2017)の記事が掲載されていました。家電といえば白物家電やAV機器などがイメージされますが、自動車、通信インフラ、センサー、3DなどのAI、IoT分野での進化が目覚しく、想像する家電の光景がそれら一色となるイメージを持ちました。この流れは、キッチン・バス業界においても、そう遠くない時代に来るものと思われま。近い将来、私共の業界でもAIを搭載した新しい製品が発売されるのではと、記事を見て改めて感じた次第です。

私共の想像している以上に現実の世界は非常に速いスピードで変化しています。昨年は長時間労働の問題、一昨年は会計処理の問題など、旧来の一般企業の常識では通らない時代になったと思います。いち早く新しい常識に取り組むこと自体が企業の価値に繋がるものと感じています。

先程、運営諮問会議にて、内閣府より子育て支援パスポート事業へのキッチン・バス工業会の協力についてご提言を頂戴しました。会議では積極的に協力する決議をいたしました。これからの住生活には、若い子育て世代や高齢者の自立など、先行き重要な課題がたくさんあります。私共キッチン・バス工業会が少しでも貢献できればと思います。会員各位におかれましても、工業会をサポートしていただきますよう宜しくお願い申し上げます。

今年は酉年であり、大きく羽ばたく年です。皆様の飛躍の年となることを祈念し、挨拶と代えさせていただきます。本年もより一層のご指導、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



大道会長による新年挨拶





来賓のご祝辞



経済産業省 製造産業局 生活製品課 住宅産業室長
杉浦 宏美 様

あけましておめでとうございます。

昨年の住宅市場は低金利の影響で堅調に推移しました。今後は質の高いストックへの転換としての2つの視点が重要になると考えています。

一つ目は、ZEH(ネットゼロエネルギーハウス)等の“住宅省エネ性能の向上”、二つ目は、“住まい手のニーズにあったソリューションを提供するリノベーション”で、動線分析されたデザインのキッチン、汚れがつきにくく掃除のしやすい浴室等、消費者ニーズや女性の社会参画促進に対してソリューションを提供していく行為であります。

その意味で今年はキッチン・バスメーカー＝“住まいの安全とソリューションを提供するプロバイダー”として活躍いただければと思います。

2025年、大阪での万博開催立候補に向けた取り組みを官民で進めています。日本発の優れた住まいやライフスタイル提案を発信する良い機会ですので、皆様の積極的な参加を期待しています。

今年“酉年”。“とり”かえる、リフォームを推進していく所存です。

引き続きよろしくお祈りします。



経済産業省 杉浦様

国土交通省 住宅局 住宅生産課長
真鍋 純 様

あけましておめでとうございます。

昨年は1年中災害続きで、新潟の火災まで、荒れ模様の1年でした。そんな中、熊本地震ではキッチン・バス工業会の皆さまのおかげで4,500戸の仮設住宅建設を完成することが出来ました。今後は自宅再建に移りますが引き続きご協力をお願いしたいと思います。国交省では、住宅の質を高める支援策として住宅ストック循環支援事業を推進しています。事業者登録数は3万件となり、まもなく交付申請の受付を開始することとなります。ぜひ、皆さまのお仕事にお役立ていただきたいと思います。また住宅税制では長期優良化リフォーム減税の創設など、2017年度予算においても住生活の質の向上を図る施策を推進してまいります。

2020年の東京五輪、2025年の大阪万博立候補など、今後もいくつかのエポックなイベントがあります。今後ともキッチン・バス工業会の皆様と協力しながら住宅政策の推進に努めていきたいと思っています。



国土交通省 真鍋様

内閣府 子ども・子育て本部 政策企画調査官
神宝 昭子 様

あけましておめでとうございます。

川柳事業での「家族の日・家族の週間」との連携など、キッチン・バス工業会の皆さまには内閣府の取組みにご理解をいただいております。

少子化対策の担当として、少子化を食い止める取組みをさらに進めていきますので、引き続き内閣府の「子育て支援パスポート事業」を通じてご協力いただければと思います。



子育て支援パスポートの
全国共通ロゴマーク



内閣府 神宝様

■子育て支援パスポート事業の全国共通展開について

http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/passport/pass_tenkai.html



賀詞交歓会でご登壇いただいた方々



山口副会長による乾杯のご発声



1月からご入会の 亀井製作所 亀井社長



高橋理事による中締め



本年も何卒よろしくお願い致します

工業会からの情報発信として、「K・B通信」を年2回(6月・12月)、賛助会員企業を紹介する「技風堂々」を年2回(4月・10月)、それぞれ発行しております。今年からは1月に開催する賀詞交歓会について特集した「K・B通信」新春特別号を発行します。今年も関係省庁・関連団体・会員各社から340名余りの出席をいただき、1月13日に盛大に開催することが出来ました。誠にありがとうございました。

事務局は本年も当工業会の発展の為に、精一杯力を尽くしてまいりますので、変わらぬご指導とご支援をお願いいたします。

なお、第13回の「台所・お風呂の川柳」の募集開始は5月1日からですので、今から入賞目指して作り溜めて下さい。沢山のご応募をお待ちしております。

昨年の一文字漢字は「金」でした。今年は何になるでしょうか？

本年が皆様にとりまして健康で良い年となることを切に願っております。

「お正月 三世代分 血洗い」(トモ)



受付で華を添えてくれた会員各社の女性陣



高木常務理事



司会の田中部長

事務局

編集後記

あけましておめでとうございます。

今年で創刊7年目を迎える「K・B通信」ですが、今回は新たな試みとして「新春特別号」と題し、賀詞交歓会の模様を中心にお届けいたしました。会場の様子や皆さまからのご祝辞をタイムリーにお伝えしたい、との思いで、昨年より準備をすすめてまいりましたが、いかがでしたでしょうか。

さて、新しい試みからスタートしたキッチン・バス工業会広報誌ですが、今号から編集長も、新たに LIXILの藤田さんへバトンタッチいたしました。ますますパワーアップする「K・B通信」ならびに「技風堂々」を、よろしくお願いいたします。

今年は皆さまにとって、どんな新しいことの起こる年になるのでしょうか。幸多き一年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。

鈴木 優子(トクラス)

新春特別号編集委員

発行責任者: 中島 宏文(タカラスタンダード)

編集長: 藤田 東一(LIXIL)

編集委員: 井上 知春(ナスラック)

大崎 和美(東京ガス)

柴崎 和彦(クリナップ)

鈴木 優子(トクラス)

滝川 光紀(積水ホームテクノ)

田中 佐知子(三菱レイヨン・クリンスイ)

塚原 敏夫(パロマ)

土井 隆義(永大産業)

松本 賢治(TOTO)

高木 利一(事務局)

田中 朋子(事務局)

JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH
キッチン・バス工業会

工業会のホームページは情報の宝庫です！

キッチン・バス

検索

発行日:2017.1.26 / 発行責任者:広報専門委員会 委員長 中島 宏文

「K・B通信」に関するお問い合わせは下記Eメールへお願いします。

Eメール:kitchen.bath@nifty.com